

PRO-1

Analog Synthesizer with Dual VCOs, 3 Simultaneous Waveforms, 4-Pole VCF, Extensive Modulation Matrix, 16-Voice Poly Chain and Eurack Format

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なブ口用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブル およびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前の良にお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蠟燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Auratone および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2019 無断転用禁止。

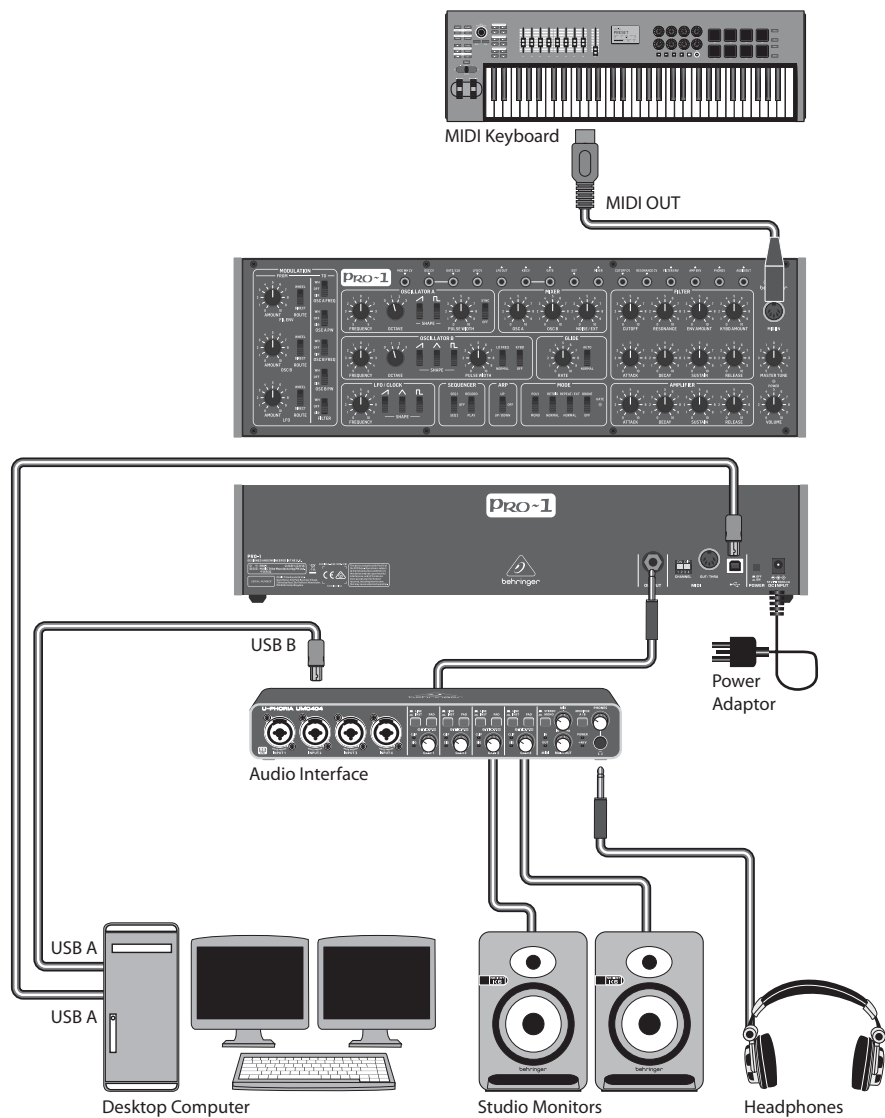
限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

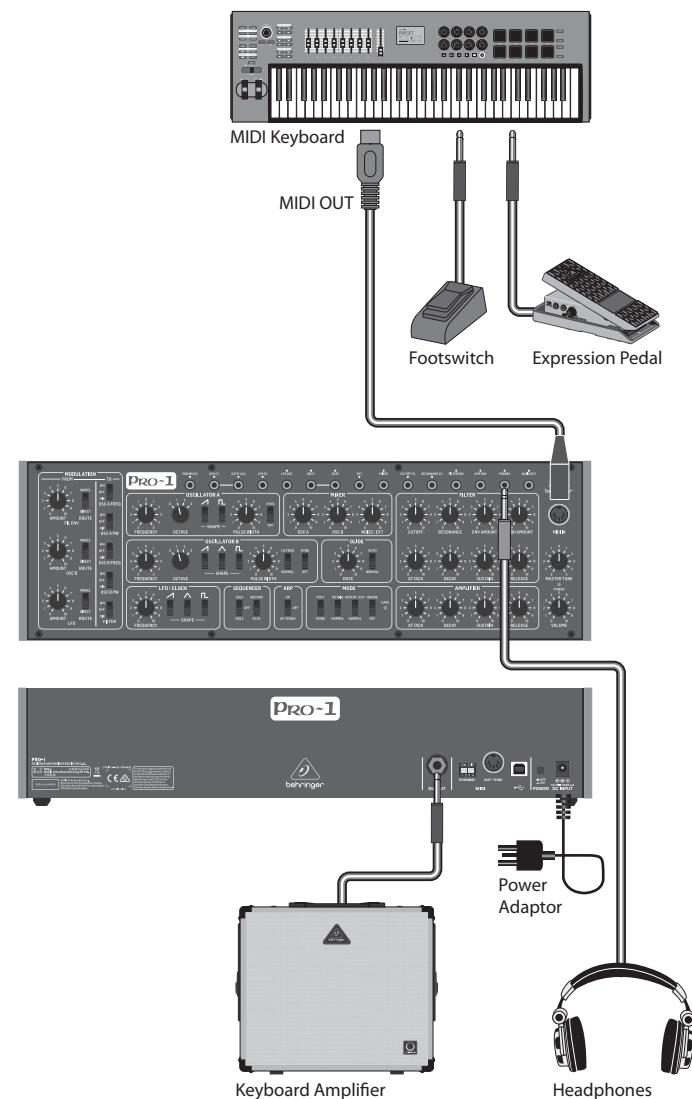
PRO-1 シンセサイザー フックアップ

ステップ 1: フックアップ

スタジオシステム



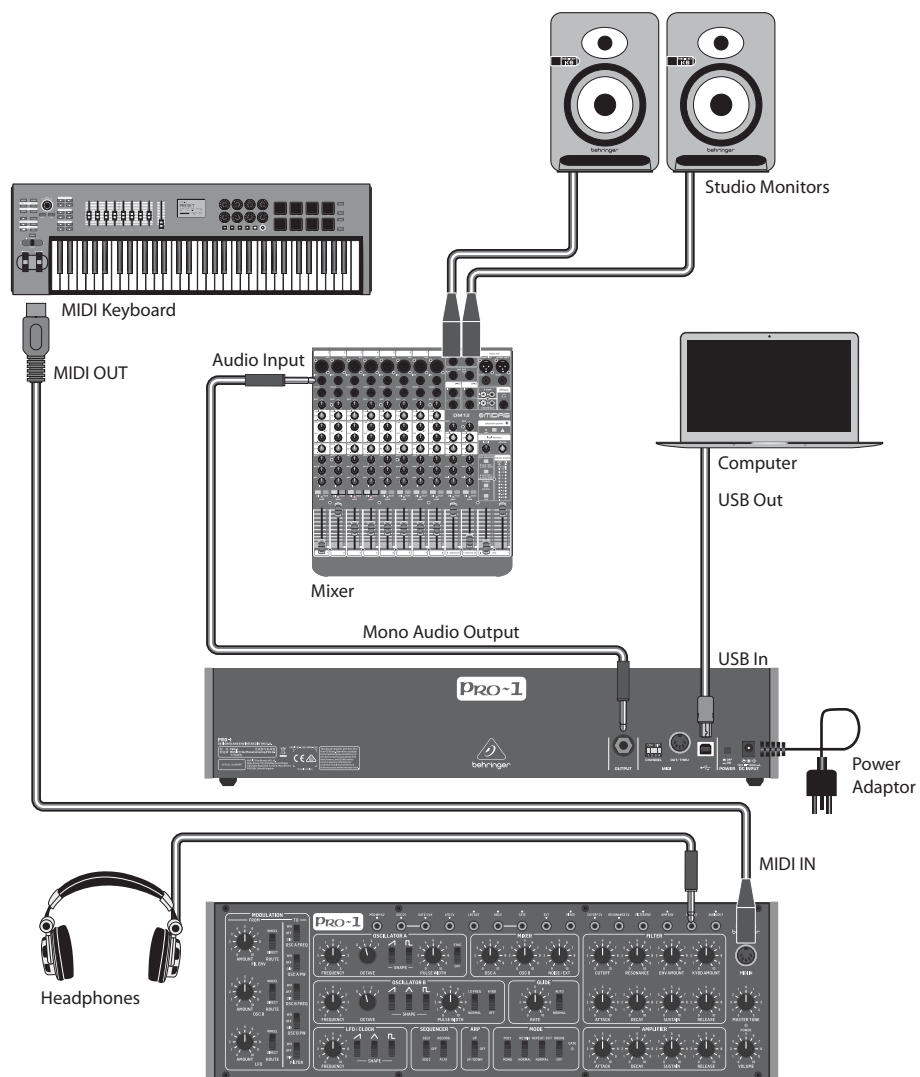
バンド／練習用システム



PRO-1 シンセサイザー フックアップ

ステップ 1: フックアップ

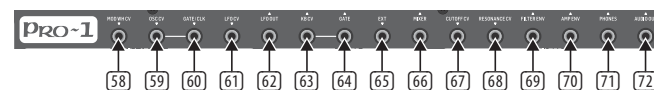
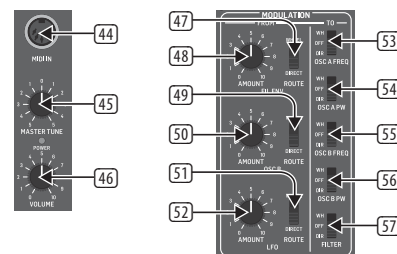
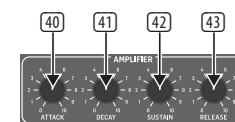
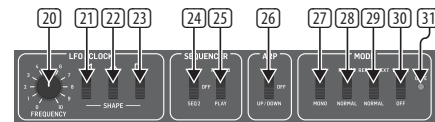
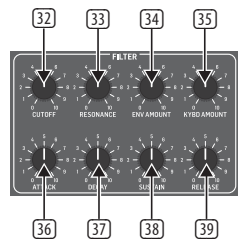
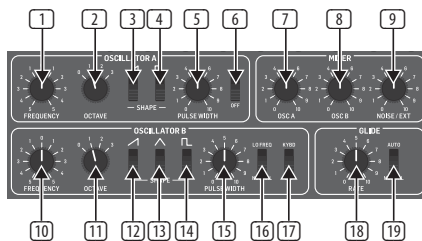
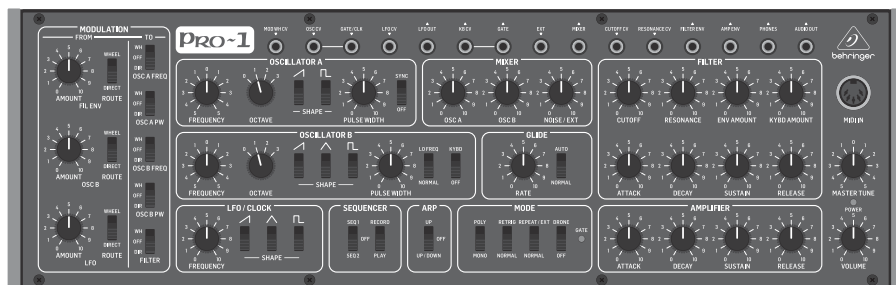
ライブシステム



PRO-1 シンセサイザー コントロール

ステップ 2: コントロール

JP



PRO-1 シンセサイザ — コントロール

オシレーター A セクション

- ① **FREQUENCY (周波数)** – オシレーター A の周波数を調節します。
- ② **OCTAVE (オクターブ)** – オシレーター A の周波数を 4 オクターブの範囲でトランスポートします。
- ③ **SAWTOOTH SHAPE (ノコギリ波シェイプ)** – 倍音をすべて含むフルレベル ウェーブシェイプを有効にします。
- ④ **PULSE SHAPE (パルス波シェイプ)** – パルス波をオンにします。倍音成分はパルス幅コントロールの設定により変化します。
- ⑤ **PULSE WIDTH (パルス幅)** – パルス波シェイプを 0-100% に設定し、このツマミでパルス波の倍音成分を変化させます。
- ⑥ **SYNC (同期)** – ハードシンクロニゼーションにより、オシレーター A をオシレーター B に追従させます。

ミキサー

- ⑦ **OSCILLATOR A (オシレーターA)** – レベルコントロール。
- ⑧ **OSCILLATOR B (オシレーターB)** – レベルコントロール。
- ⑨ **NOISE/EXT (ノイズ/外部入力)** – ホワイトノイズまたは外部入力のコントロール。外部入力への接続がある時は、ホワイトノイズ回路がバイパスされ、フィルター入力に挿入されます。

オシレーターB

- ⑩ **FREQUENCY (周波数)** – オシレーター B の周波数を調節します。
- ⑪ **OCTAVE (オクターブ)** – オシレーター B の周波数を 4 オクターブの範囲でトランスポートします。
- ⑫ **SAWTOOTH SHAPE** – 倍音をすべて含む、フルレベル ウェーブシェイプを有効にします。
- ⑬ **TRIANGLE SHAPE (三角波) スイッチ** – ウェーブシェイプをオンにします。モジュレーションのディスティネーションをオフセットしないよう、グラウンドがセンターになっています。

- ⑭ **PULSE SHAPE (パルス波シェイプ)** – パルス波を有効にします。倍音成分を調節するパルス幅コントロールの設定により変化します。
- ⑮ **PULSE WIDTH (パルス幅)** – パルス波シェイプを 0-100% に設定し、このツマミでパルス波の倍音成分を変化させます。
- ⑯ **NORMAL/LO FREQ (ノーマル/低周波)** – オシレーター B のレンジをサブオーディオ周波数 (60 Hz 周辺およびそれ以下) まで拡張します。
- ⑰ **OFF/KYBD (オフ/キーボード) スイッチ** – キーボードでのコントロール、または独立での使用を切り替えます。

GLIDE

- ⑱ **RATE (レート)** – ノート間のグライド(ポルタメント) のレートを設定します。
- ⑲ **AUTO/NORMAL (オート/ノーマル)** – NORMAL (ノーマル) の位置では、グライドは従来と同様に作用します。AUTO (オート) の位置では、任意のキーが押された状態で、新規に別のキーを押した時のみグライドします。これにより片手の操作でピッチバンドが可能です。

LFO、シーケンサー、アルペジオおよびモード設定

- ⑳ **LFO FREQUENCY (低周波)** – 低周波オシレーターのレンジを大体 0.1 から 30 Hz で変化させます。
- ㉑ **SAWTOOTH SHAPE (ノコギリ波) スイッチ** – 倍音をすべて含むフルレベル ウェーブシェイプを有効にします。
- ㉒ **TRIANGLE SHAPE (三角波) スイッチ** – ウェーブシェイプをオンにします。モジュレーションのディスティネーションをオフセットしないよう、グラウンドがセンターになっています。
- ㉓ **PULSE SHAPE** – パルス波をオンにします。
- ㉔ **SEQ1/OFF/SEQ2 (シーケンサー 1/ オフ/シーケンサー 2)** – 64 ノート シーケンサー 2 基 (SEQ1 および SEQ2)。

- ㉕ **RECORD/PLAY (レコード/プレイ)** – SEQ1、SEQ2、OFF スイッチの位置に応じて、シーケンスのレコーディングまたはプレイバックをします。
- ㉖ **ARP (アルペジオ)** – アルペジエータースイッチには3つのポジションがあります。UP (アップ - 上昇のみ)、UP/DOWN (アップ/ダウン - 上昇および下降)、そして OFF (オフ) です。
- ㉗ **POLY/MONO** – スイッチの位置が POLY (ポリ) の時に、ポリモードをオンにします。
- ㉘ **NORMAL/RETRIG (ノーマル/リトリグ) スイッチ** – エンベロープジェネレーターのトリガーモードを選択します。Normal (ノーマル) はシングルトリガーで、低い方のノートを優先します。RETRIG (リトリガー) の位置では、新規にキーを押すたびにゲートをリトリガーします (*最後にプレイしたノートが聞こえます)
- ㉙ **REPEAT/EXT NORMAL (リピート/外部ノーマル)** – この機能をオンにすると、LFO/Clock FREQUENCY (LFO/クロック周波数) コントロールで設定したレートで、エンベロープジェネレーターをゲートします。このスイッチを入れるとトップパネルの GATE/CLK IN (ゲート/クロック イン) 入力が有効になります。
- ㉚ **DRONE (ドローン)** – これを有効にすると、GATE を続行し、エンベロープをサステインレベルでホールドします。DRONE は REPEAT (リピート) より優先されます。
- ㉛ **GATE (ゲート)** – この LED には、さまざまなキーボードモードでの GATE のオペレーションおよび、外部 GATE 入力 がある場合はそれとも表示します。

フィルター部

- ㉜ **CUTOFF (カットオフ)** – VCFのカットオフ周波数を調節します。
- ㉝ **RESONANCE (レゾナンス)** – フィルターのレゾナンスを調節します。この機能では、カットオフポイント付近の周波数を強調します。
- ㉞ **ENV AMOUNT (エンベロープ量)** – フィルターカットオフ周波数をコントロールしている、ADSR フィルターエンベロープ CV の量を設定します。

- ㉟ **KYBD AMOUNT (キーボード量)** – フィルターカットオフ周波数をコントロールしている、KYBD CV (キーボードコントロールボルトテージ) の量を設定します。
- ㊱ **ATTACK (アタック)** – フィルターエンベロープのアタックタイムを制御します。
- ㊲ **DECAY (減衰)** – フィルターエンベロープの減衰時間を制御します。
- ㊳ **SUSTAIN (サステイン)** – フィルターエンベロープのサステインレベルを制御します。
- ㊴ **RELEASE (リリース)** – フィルターエンベロープのリリースタイムを制御します。

アンプリファアー部 (VCA に適用)

- ㊵ **ATTACK (アタック)** – VCAエンベロープのアタックタイムを制御します。
- ㊶ **DECAY (減衰)** – VCAエンベロープの減衰時間を制御します。
- ㊷ **SUSTAIN (サステイン)** – VCAエンベロープのサステインレベルを制御します。
- ㊸ **RELEASE (リリース)** – VCAエンベロープのリリースタイムを制御します。
- ㊹ **MIDI IN (MIDI入力)** – 選択した MIDI チャンネルより入力される MIDI データを受け入れます。
- ㊺ **MASTER TUNE (マスターチューン)** – チューニングを±5 セントの範囲で調節します。
- ㊻ **VOLUME (音量)** – シンセサイザーの出力音量を制御します。

モジュレーション部

- ㊼ **FIL ENV ROUTE (フィルターエンベロープルート)** – モジュレーションソースを WHEEL (ホイール) または DIRECT (ダイレクト) パスのいずれかに割り当てます。DIRECT ではミックスされ、選択したターゲットに直接適用されます。WHEEL ではミックスされたのち MOD ホイールに送信され、モジュレーションのデプスを変更します。
- ㊽ **FIL ENV AMOUNT (フィルターエンベロープ量)** – WHEEL または DIRECT パスにミックスするモジュレーションの量を、隣接する ROUTE スイッチで決定します。

PRO-1 シンセサイザー コントロール

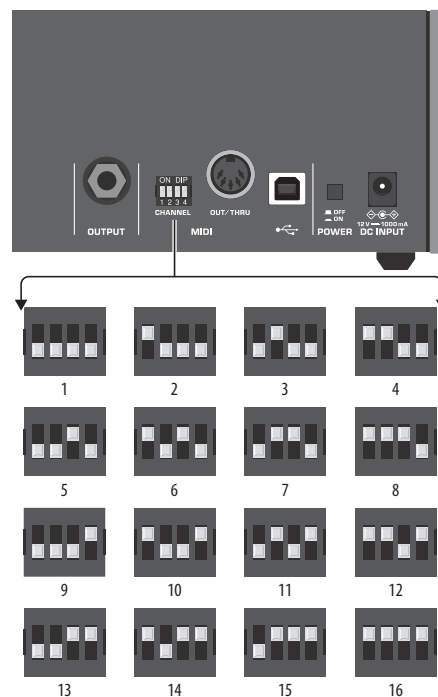
- [49] **OSC B ROUTE (オシレーターB ルート)** – モジュレーションソースを WHEEL または DIRECT パスのいずれかに割り当てます。DIRECT ではミックスされ、選択したターゲットに直接適用されます。WHEEL はミックスののち、MOD ホイールに送信され、モジュレーションのデプスを変更します。
- [50] **OSC B AMOUNT (オシレーターB 量)** – WHEEL または DIRECT パスにミックスするモジュレーションの量を、隣接する ROUTE スイッチで決定します。
- [51] **LFO ROUTE (LFO ルート)** – モジュレーションソースを WHEEL (ホイール) または DIRECT (ダイレクト) パスのいずれかに割り当てます。DIRECT はミックスされ、選択したターゲットに直接適用されます。WHEEL はミックスののち、MOD ホイールに送信され、モジュレーションのデプスを変更します。
- [52] **LFO AMOUNT (LFO 量)** – WHEEL または DIRECT パスにミックスするモジュレーションの量を、隣接する ROUTE スイッチで決定します。
- [53] **OSCA FREQ (オシレーター A 周波数)** – モジュレーションルート、OFF、WHEEL または DIRECT で切り替えます。
- [54] **OSCA PW (オシレーター A パルス幅)** – モジュレーションルート、OFF、WHEEL または DIRECT で切り替えます。
- [55] **OSCB FREQ (オシレーター B 周波数)** – モジュレーションルート、OFF、WHEEL または DIRECT で切り替えます。
- [56] **OSCB PW (オシレーター B パルス幅)** – モジュレーションルート、OFF、WHEEL または DIRECT で切り替えます。
- [57] **FILTER (フィルター)** – モジュレーションルート、OFF、WHEEL または DIRECT で切り替えます。

パッチベイ

- [58] **MOD WH CV (モジュレーションホイール CV)** – モジュレーションホイール CV 用入力。
- [59] **OSC CV (オシレーターCV)** – オシレーターピッチ CV。
- [60] **GATE/CLK (ゲート/クロック)** – 外部 GATE/CLOCK 入力。
- [61] **LFO CV** – LFO レート CV。
- [62] **LFO OUT (LFO 出力)** – LFO 出力 CV。
- [63] **KB CV (キーボード CV)** – 外部機器を制御する、1V/オクターブ。
- [64] **GATE (ゲート)** – アルペジエーターまたはシーケンサーのゲートCV出力。
- [65] **EXT (外部)** – 外部オーディオを入力し PRO-1 のフィルターおよびアンプリファアでミックスします。
- [66] **MIXER (ミキサー)** – ミキサーの出力。
- [67] **CUTOFF CV (カットオフ CV)** – VCF カットオフ周波数 CV。
- [68] **RESONANCE CV (レゾナンス CV)** – VCF レゾナンス CV。
- [69] **FILTER ENV (フィルターエンベロープ)** – フィルターエンベロープ出力。
- [70] **AMP ENV (アンプエンベロープ)** – アンプリファアエンベロープ出力。
- [71] **PHONES (ヘッドフォン)** – ステレオ 1/8 インチヘッドフォンソケット。
- [72] **AUDIO OUT (オーディオ出力)** – PRO-1 のモノラル 1/4 インチ出力。

PRO-1 背面

- [73] **OUTPUT (出力)** – 1/4 インチ (6.35 mm) モノラルジャックケーブルを使用してミキサーまたはオーディオインターフェイスに接続します。システムの電源をオンにする際は、お使いのモニターおよびラウドスピーカーを最後にオンにし、システムの電源をオフにする際は、モニターおよびラウドスピーカーを最初にオフにします。
- [74] **MIDI チャンネル選択** – 4 つのディップスイッチを動かし、シンセサイザーへ入力する MIDI チャンネルを選択します。



- [75] **MIDI OUT/THRU (MIDI スルー)** – The 5ピン MIDI DIN コネクターは MIDI INPUT (MIDI 入力) および USB 入力を受信した MIDI データ、そしてシーケンサーやアルペジエーターのノートを通スルーします。

- [76] **USB ポート** – 標準 USB ケーブルでコンピュータに接続します。PRO-1 はお使いの DAW に、MIDI 情報の送受信ができる、クラスコンプライアント USB MIDI 機器として表示されます。
- [77] **POWER (電源スイッチ)** – シンセサイザーをオン/オフします。電源をオンにする前に、オーディオ接続を全てすませてください。
- [78] **DC INPUT (電源入力)** – 必ず付属のパワーサプライをご使用ください。

ソフトウェアアップデート

PRO-1 アップデーターは www.musictribe.com でダウンロードできます。アップデートに付属するリリースノートに書かれている手順に従ってください。

技術仕様

Synthesizer Architecture

Number of voices	Monophonic
Type of oscillators	2 x 3340
Type	Analog
Oscillators	2 (32.70 Hz to 8372.02 Hz across 4 ranges)
LFO	1 (0.08 Hz to 30 Hz)
VCF	1 x 4-pole low pass (24 dB/octave slope)
Envelopes	VCF, VCA

Connectivity

Output	¼" TS, unbalanced max. +12.0 dBu
Headphones	⅛" TRS, unbalanced max. 7.5 mW@32 Ohm
Headphones output impedance	8 Ω
MIDI In/thru	2 x 5-pin DIN/ 16 channels
USB (MIDI)	USB 2.0, type B

USB

Type	Class compliant USB 2.0, type B
Supported operating systems	Windows 7 or higher/ Mac OS X 10.6.8 or higher

Oscillator Section

Controls	Frequency (OSC A&B): 0 to 10
	Octave 0, 1, 2 or 3
	Pulse Width (OSC A&B) 0 to 10
Switches	Shape (OSC A&B): Sawtooth, Pulse, and Triangular (OSC B only)
	OSC A sync: on/off
	OSC B LO Freq or Normal
	OSC B KYBD or Off

Modulation Section

Controls	From Filt env 0 to 10
	From OSC B 0 to 10
	From LFO 0 to 10
Switches	From Filt env: pitch bend wheel or direct
	From Osc B: pitch bend wheel or direct
	From LFO : pitch bend wheel or direct
	To OSC A Freq: pitch bend wheel, off or direct
	To OSC A PW: pitch bend wheel, off or direct
	To OSC B Freq: pitch bend wheel, off or direct
	To OSC B PW: pitch bend wheel, off or direct
	To Filter: pitch bend wheel, off or direct

Mixer Section

Controls	OSC A, B and Noise/External input
----------	-----------------------------------

Glide Section

Controls	Rate: 0 to 10
Switches	Auto or Normal

LFO/Clock Section

Controls	Frequency 0 to 10
Switches	Sawtooth, Triangle and Pulse

Sequencer Section

Switches	Seq 1, off or Seq 2 (64 note)
	Record or Play

Arpeggiate Section

Switches	Up, off or up/down
----------	--------------------

Mode Section

Switches	Poly or mono
	Retrig or normal
	Repeat/ext or normal
	Drone or off
LED	Gate

Filter Section

Controls	Cutoff frequency: 0 to 10
	Resonance: 0 to 10
	Env amount: 0 to 10
	KYBD amount: 0 to 10
	Attack: 2.0 mS to 6.5 S
	Decay: 2.0 mS to 15 S
	Sustain: 0 to 5 V
	Release: 2.0 mS to 25 S

Amplifier Section

Controls	Attack: 2.0 mS to 6.5 S
	Decay: 2.0 mS to 15 S
	Sustain: 0 to 5 V
	Release: 2.0 mS to 25 S

Output Section

Controls	Volume: 0 to 10
	Master tune -5 to +5
LED	Power

技術仕様

Inputs (TS 3.5 mm)	
Mod Wh CV	0 V to +5 V
OSC CV	-5 V to +5 V
Gate/Clk	More than 2 V (envelope triggers @ 2V)
LFO CV	-5 V to +5 V
Ext	Input impedance: 85 Kohm
Cutoff CV	0 V to +5 V
Resonance CV	0 V to +5 V
Outputs (TS 3.5 mm)	
LFO out	Triangle: +/-2.5 V, Pulse: +4 V, Sawtooth: +5 V
KB CV	0 V to +7 V
Gate	0 V / +5 V
Mixer	1/8" TRS, unbalanced max. +20.0 dBu
Filter env	0 V to +5 V
Amp env	0 V to +5 V
Phones	Signal output
Audio out	Signal output
Power Requirements	
External power adaptor	12 V DC
Power consumption	8 W maximum
Environmental	
Operating temperature range	5°C to 40°C (41°F to 104°F)
Physical	
Dimensions (H x W x D)	95 x 424 x 136 mm (3.7 x 16.7 x 5.4 ")
Weight	1.8 kg (4.0 lbs)
Shipping weight	2.7 kg (5.9 lbs)
Eurorack HP	80

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の

選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くになくときは、behringer.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You